

令和５年度 緑が丘小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

- (1) 基本目標
実践を通して、自ら学び続ける力を身につけながら、心豊かにたくましく生きていく児童の育成
- (2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）
【合言葉】みどりの子 明るく やさしく 根気よく
「自分をつくり自立する子（生きる力）」
- ・友達をつくり力を合わせる子（社会性）
 - ・豊かな心をつくる子（感受性・主体性）
 - ・丈夫な体をつくる子（意欲・気力・体力）
 - ・確かな考えをつくる子（課題解決力）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

誰もが生き生きとかがやく学校

- ◇ 子供一人一人が認められ、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ学校
- ◇ 教職員がそれぞれの専門性を発揮し、協働できる学校
- ◇ 家庭や地域とのつながり(情報共有)を大切にし、保護者や地域住民から信頼される学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

豊かななかかわりを通して、共に学び、生き生きとかがやく学校

- (1) 豊かななかかわりとは (a)
- 子供一人一人のよさが生かせ、かかわったことでさらに学びが深まる
- ・子供同士、教職員、家族、地域の方々（人）
 - ・各教科や学校行事などカリキュラムマネジメント（教育課程）
 - ・豊かにする場の工夫（交流（授業，図書，ボランティア活動，異学年））（場）
 - ・地域の教育資源等の効果的な活用
- (2) 共に学びとは(b)
- 自他のよさを生かし他と協働しながらよりよい社会を創造していく
- (3) 生き生きとかがやくとは(c)
- ・子供が自分の変容を実感する（例：頑張れるようになった自分を知る）
 - ・子供の達成感や成就感を実感する
 - ・それぞれの立場から役割分担をしながら推進する
- 教職員：新学習指導要領における学力の向上 自己肯定感の育成
家族：基本的な生活習慣の育成 安心した自己を表出できる場
地域：社会との架け橋 子供一人一人のよさを生かしかわったことでさらに学びが深まる。

【陽南地域学校園教育ビジョン】

主体的に活動できる子どもを育む小中一貫教育 ～子供の自主的な活動を通して～

4 教育課程編成の方針

- ① 新学習指導要領の趣旨を理解し、「主体的・対話的で深い学び」のある教育を実現する。(b, c)
 - ・児童の問題意識の重視，互いのよさが生きる場の設定，自分の学びを確認する時間
- ② 学年・教科等のカリキュラムマネジメントにより，教育活動相互の関連や地域の教育資源の活用を充実する。(a)
 - ・教科関連の見直し，年計の改善
- ③ 児童や学校経営に関する各種調査結果をもとに，より実態に即した創意ある教育課程の改善を行う。(b, c)
 - ・学校行事等各種教育活動における目標の確認と具現化の工夫
- ④ 児童一人一人のよさが生きる豊かななかかわりを充実させるため，多様な集団による教育活動を工夫する。(a)
 - ・豊かななかかわりの確認と，新たななかかわりの工夫

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営 ○ 学ぶ楽しさと、居場所のある学校 (2) 学習指導 ○ 主体的により深く学ぶ児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びを一人一人が実感して～ (3) 児童生徒指導 ○ 自他を認め、思いやりのある社会性を育む児童生徒指導の充実 ～規範意識を高めるとともに、相手の気持ちを考えた行動ができる児童の育成～ (4) 健康（保健安全・食育）・体力 ○ 進んで体力向上に努めようとする児童の育成 ～自らの健康について考えさせる指導を通してから～
--

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 学習課題を解決するために、話をじっくり聞いたり、発表したりするなどの学び合いを通して、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。 ② 国語科や特別活動の話し合い活動の実践を他の教科等にも生かして、主体的に話し合い活動を実践する力の育成を図る。 ③ 学習に進んで取り組む意欲を高めるために、宇都宮モデルを生かし、学習の始めには学習のめあてを設定し、見通しをもって学習に取り組む、振り返りの時間を設け、自己の学びの確認をする。 ④ 1人1台端末を積極的に活用し、必要な情報を集め考えることを通して、進んで学習に取り組めるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 友達を呼ぶ時に「～さん」と呼ぶことを徹底し、道徳教育や人権教育の指導を充実させ、思いやりの心を育てていく。 ② 学校行事等との関連を図り、個に応じた指導の充実を図る。 ③ 教師の率先垂範による好ましい言語環境の構築を図り、相手の気持ちを考えた言葉遣いができる児童を育成する。 ④ 縦割り班活動や縦割り清掃等の充実を図り、思いやりの心や協力しようとする態度を育む。		【達成状況】 【次年度の方針】

	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 夢や目標に向かって努力することの大切さについて指導するとともに、児童の内面を共感的に受け止め一人一人を大切にし、やる気と自己有用感に満ちた児童を育成する。 ② 児童が集団の中で自分らしさを発揮し、他と協働する体験や、競い合い高め合う体験を重ね、一人一人と望ましい集団を育てる。 ③ キャリアパスポートを活用し、本人の目標や取組を認め伸ばす指導により自尊感情、自己肯定感を高め、その様子を家庭に知らせるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 給食時の身支度指導、歯みがきや保健委員会の取組など、学校生活の中の様々な保健指導を通して、基本的な生活習慣を身に付け、衛生的・健康的な生活ができるよう指導する。 ② 各教科等における安全に関する指導の充実を図り、ルールやマナーの指導を徹底し、怪我や事故の未然防止に努める。 ③ 手洗い・消毒・換気などを継続的に指導し、感染症予防に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、自分の良さや考えを生かしたり、周りと協力し合ったりして進んで生活をよりよくしようとしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① Q-U 検査やお話タイム等を活用し、児童一人一人の思いを受け止め、よりよい学級とするための手立てとする。 ② 自己有用感を高める道徳や学級活動等を実施し、望ましい人間関係の形成や児童が自己決定できる場の設定を図る。 ③ キャリアパスポートを利用しながら、教師から児童へ積極的な声掛けを行い、目標に向けた取組を、意図的・計画的・継続的に行うようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 教材研究の充実やALTとの連携により、英語のみでの学習時間を設定するなど、英語によるやりとりを中心とした授業実践の推進を図る。 ② 学校行事等へのALTの参加やALTとの交流の場の工夫を行い、生きた英語に触れる機会の充実を図る。 ③ 教材等、備品の管理や校内掲示の工夫を行い、外国語活動に向けた環境整備の推進を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 生活科・社会科・総合的な学習の時間・道徳等の学習において、地域や郷土に関連付けた課題の設定を行う。 ② 特別活動(学校行事等)・校外学習における体験的な学習の場の設定を行い、保護者にもその様子を発信し、児童が郷土宇都宮に対する理解を深められるよう、発達段階に応じて郷土に関する学習を推進する。 ③ 宇都宮学の学習を通して、宇都宮の良さについて学習する。	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 授業における実践を通して、デジタル・シティズンシップ教育を行う。 ② ICT機器の効果的な活用や、ICT機器を使ってまとめたり伝えたりする活動を行い、情報活用能力の育成を図る。 ③ 朝の全校読書を充実させるとともに、図書資料を有効に活用した学びを充実させるために、学習ニーズの把握に基づいた関連図書情報の提供や市立図書館と連携した授業実践を図り、学校図書館の整備を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の『持続可能な社会』について、関心をもっている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 社会科・理科・生活科・総合的な学習の時間・家庭科・特別活動における活動において「持続可能な社会」と関連付ける学習活動の見直しや児童の実態に応じた具体的な活動内容の検討を行い年間指導計画を作成する。 ② 環境委員会主導で「持続可能な社会」(SDGs)に対する児童の関心を高め、ごみの分別・残菜を減らす取り組み・節電・節水などに対して意識を高め実践する。 ③ 「持続可能な社会」(SDGs)への取組の意義を考えさせ、取組への動機づけを図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① おはなしタイム(教育相談)や保護者との懇談を通じた児童理解の推進を図る。 ② 校内支援委員会やケース会議を活用して、指導目標・指導の手立て等の検討を行い、組織的指導の充実に努める。(会議の内容を全職員で共有していく) ③ 困り感を抱えた児童が自信をもって生活できるよう、かがやきルームにおける指導の充実に努める。 ④ 個別支援計画の有効活用を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】

3- (2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 学年・学級懇談会や学校だより、HP 等で積極的に学校の方針を説明・公表するとともに、保護者や地域といじめに関する情報交換に努める。 ② 「いじめは絶対に許さない」、「いじめには大人が介入する」を全教職員で認識し、児童の主体的な取組（いじめゼロ集会）も促しながら、未然防止、早期発見・早期解決に組織的に取り組む。 ③ 「いじめゼロ集会」の実施を行い、いじめゼロ強調月間の取組の充実を図る。 ④ おはなしタイム（教育相談）、Q-U 検査等を活用した実態把握の工夫や年 4 回のいじめアンケートの実施と結果の効果的な活用を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 学年・学級経営計画に基づいた意図的・計画的な指導や教師と児童の協働・共遊を通して、居心地がよく、明るく活力に満ちた学級風土づくりを推進する。 ② おはなしタイム（教育相談）・Q-U 検査の結果やスクールカウンセラーの効果的な活用に努め、児童の内面を共感的に受け止め児童一人一人を大切にする。 ③ 日々の様子の記録等を活用した情報共有を推進し、対策委員会での共通理解に基づいた組織的計画的な支援を推進する。 ④ 別室登校支援等、児童の実態に応じた支援策の工夫に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実 3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート 「先生方は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしていたりして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① おはなしタイム（教育相談）や懇談などを通して、本人の困り感を把握し、学校全体として本人の居場所を確保に努める。 ② 宗教や国籍や健康状態等を考慮し、事前に話し合い、学校行事への参加について判断する。 ③ Q-U 検査の結果などを活用し、本人だけでなく学級全体の様子を把握・指導することで、互いに認め合える集団づくりに努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

4－(1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 自己研鑽や学年共同での授業研究等を積極的に行い、児童一人一人が意欲をもって取り組める授業の工夫に心がけ、学力向上に努める。 ② T・Tによる学習や少人数による熟度別学習を充実させるとともに、特別支援教育の考え方を生かした指導を行うことで、個に応じた指導の充実を図る。 ③ I C T（特に1人1台端末）を効果的に取り入れ、個に応じた指導ができるようにする。 ④ スキルタイム（朝の学習）を充実させるとともに、家庭学習について「家庭学習のヒント集」（陽南地域学校園）を活用し、具体的な指導・支援を行うことにより、基礎・基本の確実な定着を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
4－(2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 管理職（副校長）による総合的な連絡調整の実施に努める。 ② 業務担当教職員との綿密な打ち合わせの実施を図る。 ③ 各スタッフによる関係教職員への積極的な情報提供の推進に努め、連携を密にし、チームとして組織的に対応する。 ④ 校内支援委員会等の各種委員会に専門性を有するスタッフも組織の一員として位置づけ、積極的な情報提供や意見を反映できるようにしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
4－(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 校内働き方改革計画を全職員で共有し、「働きがいがあり、働きやすい学校」を目指す。 ② 各教育活動の意義や目的を明確にし、業務の重点化を図ることで、業務縮減を実現する。 ③ リフレッシュデーの計画的な実施により、各教職員のタイムマネジメント力を向上させる。	【達成状況】 【次年度の方針】

5-（1） 全市的な学 校運営・教 育活動の充 実	A17 学校は、「小中一貫教 育・地域学校園」の取組 を行っている。 【数値指標】全体アンケート 「学校は、小学生や中学生が 交流する活動を行っている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域 住民の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園として、各教科で身に 付けさせたい力を年間指導計画 に位置付け、教職員が9年間で児 童を育てる意識がもてるように する。 ② 小中一貫教育研修会の各部の話 し合いの内容や乗り入れ授業の 内容を全教職員で共有し、共通理 解を図る。 ③ 給食だよりや図書館だより等の 地域学校園共有発行を推進する。 ④ 小中合同のあいさつ運動や中学 校訪問の機会を通して、児童生徒 相互の交流を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
5-（2） 主体性と独 自性を生か した学校経 営の推進 5-（3） 地 域 と 連 携 ・ 協 働 し た 学 校 づ く り の 推 進	A18 学校は、家庭・地域・ 企業等と連携・協力して、 教育活動や学校運営の充 実を図っている。 【数値指標】全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と 一緒に活動することで学習が 充実し、楽しい。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域 住民の肯定的回答 80%以上	① 学校便り、学年便り、保健便り、 食育便り、図書館便り等の工夫と 定期的発行やホームページでの 情報の積極的な発信・提供を行 い、家庭・地域・企業等との連携・ 協力を推進する。 ② 生活科や総合的な学習の時間 における体験活動を中心とした交 流活動の推進や地域団体・地域人 材の積極的な活用を通して、地域 と共に歩む魅力ある学校づくり を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
6-（1） 安全で快適 な学校施設 整備の推進	A19 学校は、利用する人の 安全に配慮した環境づく りに努めている。 【数値指標】全体アンケート 「学校は、利用する人の安全 に配慮した環境づくりに努め ている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民 の肯定的回答 80%以上	① 縦割り班清掃活動の児童と教師 の協働による日常の清掃活動等 を充実させ、環境の安全に努め る。 ② 長期休業前の清掃強化週間の有 効活用や奉仕活動の充実を図る。 ③ 地域協議会と連携し、安全・安心 な環境づくりの推進に努める。 ④ 安全点検結果に基づく、修繕補修 を迅速に行い、安全な学習環境づ くりを推進する。 ⑤ 日常点検、定期点検等の安全点検 を実施して、関係職員と連携した 計画的な修繕の実施に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
6-（2） 学校のデジ タル化推進	A20 コンピュータなどのデ ジタル機器やネットワー クの点から、授業（授業 準備も含む）を行うため の準備ができている。 【数値指標】全体アンケート 「コンピュータなどのデジタ ル機器やネットワークの点か ら、授業（授業準備も含む） を行うための準備ができいて る。」 ⇒教職員・保護者・地域住民 の肯定的回答 80%以上	① 職員研修により、1人1台端末を 日常的に文房具として活用した 授業づくりを行うためのスキル を身に付ける。 ② 学校用グループウェア・校務支援 システム・デジタル連絡ツールの 効果的な活用について全教職員 で共有する。 ③ 作成データの保存や管理を組織 的・計画的に行う。	【達成状況】 【次年度の方針】

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 代表委員会の計画であいさつ運動強化週間を実施したり、あいさつ標語を掲示したりするなど、児童の主体的な活動によるあいさつの励行に努める。 ② 陽南中学校地域学校園や、緑が丘小学校魅力ある学校づくり地域協議会との連携を図り、保護者、地域と連携協力したあいさつ運動を実施する。 ③ 下学年では、積極的に元気にあいさつするよう指導し、上学年では状況に合わせて会釈を活用していくなど工夫したあいさつができるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 基本的な生活習慣を身に付けようとする意識を高めるために、「緑が丘小生活のきまり」を各学級に掲示し、きまりの意義を考えさせ、重点目標について繰り返し指導する。 ② 児童の発想を生かし、児童の実態に合わせた生活目標を設定したり、季節や行事に合わせた生活目標を設定したりして全教職員で重点的に指導に当たる。	【達成状況】 【次年度の方針】
地域学校園共通課題	B 3 児童生徒は、コミュニケーションをとることで生活をより良くしようとしている。 【数値指標】全体アンケート ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 国語や学級活動で、話し合いの仕方を学ぶことを通して、積極的にコミュニケーションを取り、問題を解決しようとする態度を育てる。 ② 道徳の学習において、相手の立場になって考えたり、考え議論したりすることを通して、一人一人の自己肯定感を育て、自他を認め、思いやりの心を育てていく。 ③ 学級活動や児童会活動の自治的活動を通して、コミュニケーションをとることで、課題を解決することの良さを実感できるよう支援する。	達成状況】 【次年度の方針】
地域学校園共通課題	B 4 児童生徒は、宿題や自主学習、読書など家庭学習をしている。 【数値指標】全体アンケート ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 1,2年では、宿題や音読、読書などに取り組み、家庭学習に取り組めるようにする。3年生以上では、陽南地域学校園「家庭学習のヒント集」を活用し、毎日家庭学習に取り組めるようにする。 ② 発達の段階に応じて、「計画・テスト・分析・練習」のサイクルで自主学習が行えるよう、学級懇談会や学習指導便りで家庭に伝え、毎日計画的に家庭学習に取り組めるようにする。 ③ 学びへの興味・関心を高める授業づくりに努め、授業の復習や発展学習、予習などに自ら取り組もうとする意欲付けを図る。	達成状況】 【次年度の方針】

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B5 児童は、体力づくりに関心をもち、進んで体力の向上に励んでいる。 【数値指標】児童・教職員アンケート 「自分は、運動集会や、検定するとき、目標に向かって努力している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 各種検定カードの効果的な活用を図り、自分のめあてに向けた体力づくりの推進に取り組むとともに家庭でも取り組んでいけるよう呼び掛けていく。 ② 「うつのみや元気っ子健康体力チェック」の結果分析を生かし、年間を通した体力向上に取り組む。	
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B6 豊かな人間関係力を育てる場を工夫し、社会性の育成に努めている。 【数値指標】児童・教職員アンケート 「学級活動や縦割り活動で、友達と協力して進んで活動している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 係活動や当番活動など自主的な活動を通して、学級での人間関係力を高める。 ② 特別活動の研究を生かし、児童会活動や縦割り班活動がより児童の主体的な活動となるよう工夫する。 ③ 委員会活動やクラブ活動において児童による自治的な活動を実践する。児童の良さを生かしてみんなに認められ、自己肯定感を感じられる場を意図的に設定する。	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。